

避難所での食支援を想定した実動訓練の実施について

一般社団法人ながの移動販売つなぎ局

1. 目的

長野県内で大規模災害が発生した際に、どのような支援体制であればより多くの被災者に良好な食事環境でバランスの良い食事が提供できるかを想定し、キッチンカーによる食支援訓練を行うことで規模に応じた必要人員や必要備品などを検証するとともに、被災者の命を守る食支援のあり方について官民が同じ方向を向いて検討する今後の仕組みづくりに生かす。

2. 訓練概要

- (1) 日時 令和7年2月6日(木) 13:00~17:00
- (2) 場所 長野県立大学三輪キャンパス（長野市三輪 8-49-7）
- (3) タイムスケジュール

<提供開始想定時間 16:20>

- 13:00 設営開始
- 14:00 調理開始
- 15:00 協力飲食店より主菜到着、再加熱もしくは保温
- 16:10 要配慮者の食事支援開始
- 16:20 食事提供開始
- 17:00 提供終了、片付け

3. 実施体制

主催：一般社団法人ながの移動販売つなぎ局、
長野県立大学健康発達学部食健康学科教授 稲山貴代
共催：長野県災害時支援ネットワーク、長野県
協力：長野県社会福祉協議会

4. 実施内容

- ・複数のキッチンカー事業者の連携による主食・主菜・副菜・汁物が揃った温かく栄養のある食事の提供
- ・キッチンカー事業者だけでなく、飲食店や避難所運営支援者等とも連携を想定とした訓練
- ・食堂設置による衛生面や被災者のコミュニケーションに良好な食事環境を整える点に

考慮した配膳訓練

- ・キッチンカー（厨房機能）と食堂、キッチンカー事業者の滞在場所を備えた支援拠点化の実験

5. 支援及び被災地想定と訓練の規模

支援要請は、長野県からの要請による支援活動を想定

- ・被災地：長野市から 130km 離れた南信地域の被災地
- ・支援対象被災者：避難者約 200 人+避難所から 3km 離れた集落に 50 人
- ・支援期間と内容：発災後 4 日目から 2 週間、昼食と夕食の 1 日 2 食の支援
- ・インフラ：道路は仮復旧（高速道路は使用可）、電気・ガス・上下水道は使用不可

今回の訓練の規模：50 人分（うち 10 人は 3km 圏内）で夕食支援訓練とする

※主菜は長野市内の飲食店で調理し、配達する想定とする。